国語科学習指導案　　熊野町立熊野第二小学校

本しゃべりストになって，心に響いた場面を伝えよう！
～ ごんぎつね ～

指導者　渡橋　美保
学　年　第４学年１組１５名
日　時　令和２年１１月５日（木）５校時

１　単元について

【育成を目指す資質・能力】基礎的な知識・技能，活用する力，表現する力（★対話する力），振り返る力，考えをもつ力

【研究主題】言葉の力を高める言語活動の在り方
～質の高い対話を通して～

【単元観】

本単元は，学習指導要領「C 読むこと（１）エ　登場人物の気持ちの変化や性格，情景について，場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。」「C 読むこと（１）カ　文章を読んで感じたことや考えたことを共有し，一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。」をねらいとして設定した。

本単元の中心教材「ごんぎつね」は，一人ぼっちでいたずらばかりしている小ぎつねの「ごん」が中心人物である。ごんはいたずらを後悔して償いを繰り返すが，兵十にそのことが伝わる前に，撃たれてしまう悲しい結末を迎える物語である。各場面に巧みな情景描写が多くみられ，場面と場面の関係に注意して，登場人物の気持ちの変化を想像しながら読むことに適した教材である。また，この教材と並行して，他の新美南吉作品を読ませ，「ごんぎつね」及び自分が選んだ新美南吉作品について，心に響いた場面を本しゃべりスト（本について熱く語る人：造語）になって「私のおすすめ紹介カード」で伝え合うことを言語活動として位置付けた。「私のおすすめ紹介カード」には，お気に入りの情景や心に響いた場面とその理由を書かせ紹介し合う。

こうした活動を通して，場面の移り変わりと結び付けながら作品の世界を豊かに想像して読んだり，他者の感じ方のよさに気付いたりすることができると考える。

【児童観】

本学級の児童は，これまでに「一つの花」で場面と場面を比べながら登場人物の行動や気持ちを捉える学習を行った。ほとんどの児童は，教師の意図的な発問があれば，場面の移り変わりと結び付けて登場人物の気持ちの変化を読み取ることができた。しかし，登場人物の性格や情景を具体的に想像することや，登場人物の気持ちが場面の移り変わりの中で揺れ動く様子について想像を広げながら読むことは十分であるとはいえない。

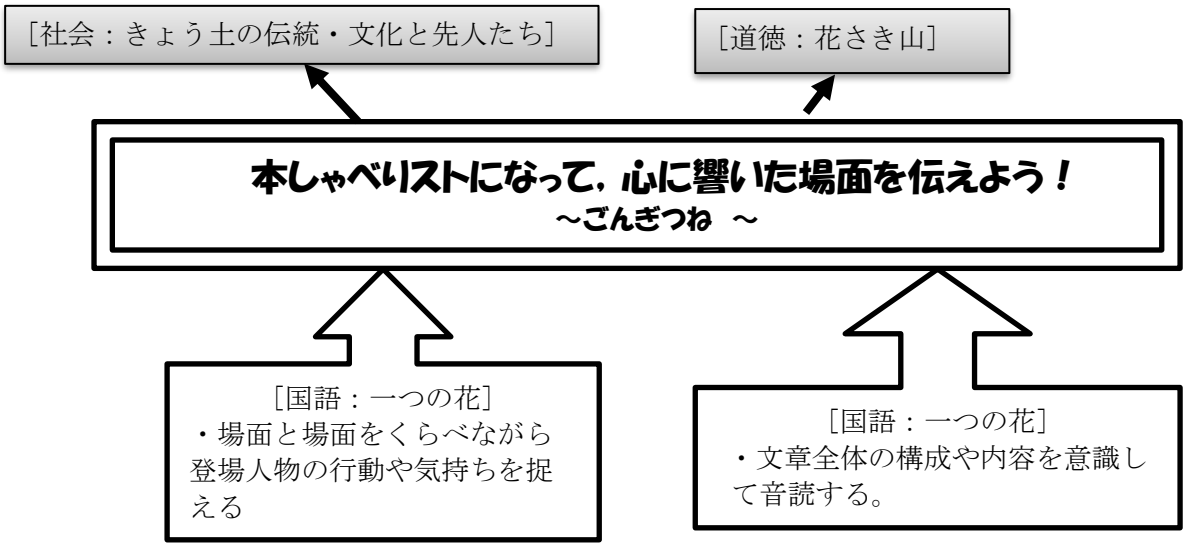
また，「本を紹介しよう」では，自分の選んだ本について感想を伝え合う学習を行った。自分なりの感想をもつことはできるが，お互いの考えを共有し，感じ方の違いに気付くには至っていない。

【指導観】

本単元では，情景描写が美しい主教材を生かし，登場人物の気持ちの変化や情景について具体的に想像することに焦点を当てたい。そこで，登場人物の心情が分かる行動や会話，情景描写について，色を変えて線を引かせたり付箋を活用したりする。そして，「自分が心に響いた場面を見付け，理由とともに伝えよう」という発問で対話する。そうすることで，児童は主体的に対話し，叙述に着目して登場人物の気持ちの変化や情景を具体的に想像しながら読む力が身に付くと考える。

並行読書教材については，４冊用意するが，全ての本について一度以上読ませる。第３次では，同じ本を選んだ友達と対話を行わせる。そうすることで，お互いの考えを共有することができると考える。また，単元の最後は，違う本を選んだ児童同士で対話させるが，一度は相手が選んだ本を読んでいることで，お互いの感じ方の違いに気付けるようにしたい。

２　本単元に関連する教科等



３　単元の目標

【知識・技能】

〇様子や行動，気持ち性格を表す語句の量を増し，語彙を豊かにすることができる。［（１）オ］

【思考力・判断力・表現力等】

◎登場人物の気持ちの変化や情景について，場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。［C（１）エ］

〇感じたことや考えたことを共有し，一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。［C（１）カ］

【学びに向かう力・人間性等】

〇言葉がもつよさに気付くとともに，幅広く読書をし，国語を大切にして，思いや考えを伝え合おうとする。

４　単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
・教科書や並行読書の本で使われている言葉の工夫に着目して，気持ちや性格を表す語彙を増やしている。［（１）オ］	①　登場人物の気持ちの変化や情景について，場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。［C（１）エ］ ②　文章を読んで，感じたことや考えたことを共有し，一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。［C（１）カ］	・進んで作品を読んだり，紹介カードを作ったりしようとしている。

５　単元の学習計画と評価計画（全１４時間）

次	時	学習内容	指導上の留意点	評価規準【観点】（評価方法）
一	1	○「本しゃべりストになって，心に響いた場面を伝えよう！」という学習課題を確認する。 ・単元のゴールを知り，学習計画の見通しをもつ。 ・教師による絵本「あめだま」の読み聞かせを行う。 ・新美南吉作の物語を読む。	○教師自作の「私のおすすめ紹介カード」を提示することで，学習の見通しを持てるようにする。 ○「新美南吉コーナー」を用意し，その中から読みたい本を１冊決めて，第二次（２～６時間目）の授業の最後１０分間で，並行読書するようにさせる。	○進んで作品を読んだり，紹介カードを作ったりしようとしている。【主体的】(行動観察)
二	2	○「ごんぎつね」の物語の設定や構成をとらえ，紹介カードに書く。	○社会科との関連を図る。	○登場人物の気持ちの変化や情景について，場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。[C（１）エ【思・判・表】（発言・行動観察・ワークシート）
	3	○ごんの気持ちについて話し合う。	○全体で最終場面の「ごん」の心情について話し合うことで，その後の個人の学習の手がかりとさせる。	
	4	○兵十の気持ちについて話し合う。	○登場人物の心情が表れた行動や会話に線を引き，そこから登場人物の気持ちの変化等について，捉えさせる。	
	5 6	○情景描写から，場面の様子や登場人物の気持ちを考え，紹介カードに書く。	○登場人物の心情について，行動や会話からわかる箇所と情景からわかる箇所に色別の付箋を使わせる。 ○友達との対話を通して，お気に入りの情景描写を選ばせ，カードに書かせる。	○教科書や並行読書の本で使われている言葉の工夫に着目して，気持ちや性格を表す語彙を増やしている。【知識･技能】(発言･ワークシート)
	7 (本時)	○一番心に響く場面と，その理由について話し合う。	○主体的な対話となるように，２回目以降は自由に相手を選んで対話させる ○「一番心に響く場面」を選び，全文シート（掲示用）に名前を記入しておくことで，児童自身が対話したい相手を選べるようにし，対話の目的をはっきりさせる。	
	8	○「私のおすすめ紹介カード」を完成させる。	○前時の対話を基に，自分が一番心に響く場面をカードに書かせる。	○進んで作品を読んだり，紹介カードを作ったりしようとしている。【主体的】(行動観察)

三	9	○自分が選んだ本の物語の設定や構成とらえ，紹介カードに書く。	○同じ本を選んだ者同士でグループを作り，対話をさせながら紹介カードづくりに取り組ませる。	○文章を読んで，感じたことや考えたことを共有し，一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。【思・判・表】（発言・行動観察・ワークシート）
	１０ １１	○自分が選んだ本の登場人物の気持ちについて話し合う。		
	１２	○自分が選んだ本の情景描写から，場面の様子や登場人物の気持ちを考え，紹介カードに書く。	○「ごんぎつね」と同様に，自分が一番心に響いた場面とその理由や，お気に入りの情景描写についてカードに書かせる。	
	１３	○完成した紹介カードを使って，心に響いたところについて話し合う。	○友達の「私のおすすめ紹介カード」を見ながら対話を進め，友達との考えの違いや同じところに気付かせる。	○教科書や並行読書の本で使われている言葉の工夫に着目して，気持ちや性格を表す語彙を増やしている。【知識・技能】（発言・ワークシート）
	１４	○再度読みたくなった物語を読み，学習を振り返る。	○対話を基に，再度読みたくなった物語を読む時間を十分にとる。	

６　本時の展開

（１）本時の目標

○心に響いた場面とその理由を話し合うことを通して，登場人物の気持ちの変化や情景について，場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し伝え合うことができる。【思・判・表】

（２）本時の学習展開

学習活動と主な発問（○）	指導上の留意点	評価規準 （評価方法）
１　本時の課題を確認する。	○前時で選んだ場面を音読し，一番心に響いたところを確認する。	
一番心に響いた場面とその理由について，伝え合うことができる。		
２「ごんぎつね」の物語の中で，一番心に響いた場面とその理由を交流する。 ○1 番心に響いた場面とその理由を友達と交流しよう。	○１回目の対話相手は同じ場面を選んだ児童同士を教師で指定して対話させ，理由をはっきりさせるという対話の目的を明確にする。 ○主体的な対話となるように，２回目以降は自由に相手を選んで対話させる。	
３　一番心に響いた場面とその理由について再度自分で考える。	○自己内対話の時間を十分に確保することで，友達との対話を基に自分の考えを整理させる。	登場人物の気持ちの変化や情景について，場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像しているかの確認 【思・判・表①】
４　一番心に響いた場面とその理由を全体で交流する。	○表情やしぐさなども想像させることで，より登場人物の心情について具体的に想像できるようにさせる。	

5　学習のまとめと振り返りを行う。 登場人物の気持ちの変化や情景について，たくさん想像することができた。		（行動観察，発言，ワークシート）

7　板書計画

本しゃべりストになって，心に響いた場面を伝えよう！

ごんぎつね

めあて

一番心に響いた場面とその理由について，話したり書いたりすることができる。

全文掲示

まとめ

登場人物の気持ちの変化や情景について，たくさん想像することができた。

教卓（司会の台）

①	③		⑨
②	④		⑩
⑤		⑧	
⑥	⑦	⑪	⑫